

# 森の国松野町へ行こうよ！

## 森とともに生きる町

松野町は、四国の西南部、高知県との県境に位置する町です。町の面積の8割を森林が占めており、古くから森に関わる生業が営まれてきました。このような背景から、松野町は“森の国”と呼ばれています。

また、清流四万十川の支流、広見川と目黒川が流れ、「ジゴク」と呼ばれる伝統的なウナギ漁や四万十川流域に特徴的な沈下橋が残るなど、森が育んだ豊かな川文化を体感することができます。



MAPIO / Copyright©NijiX

## 森が育んだ豊かな歴史文化

松野町では、「第1次松野町文化財保存活用地域計画」を策定し、令和2年12月に国の認定を受けました。この計画は、人口減少や少子高齢化による担い手不足などにより、地域によって守り受け継がれてきた文化財の消滅や散逸を防ぐため、また指定・未指定にかかわらず松野らしさを特徴づけるものを文化財と位置づけ次世代に継承するために策定したものです。松野町は、“森の国”というキャッチフレーズにもあるように「森」との関わりを強く有することが大きな特徴です。日本は豊かな森林に恵まれていますが、それらは多くの川でつながれ、川は海へと注いでいきます。この水の循環を支える発生源こそ「森」なのです。「森」は人間の活動や自然の営みに必要な水の供給源として、また、多様な生態系の維持に深く関わっています。松野町はこの「森」が豊かです。このような「森」と人のくらしが接する源流域で育まれてきた松野町の歴史文化の特徴は次のAからDの4つの柱としてまとめることができます。

### A「森が育む営み」の歴史文化

川の源流域である山地部（里山）が対象。町域の多くを占める森と最も密接に関わり、また豊かな自然の恵みを活かし、営まれてきた農山村地帯の歴史文化。



奥内の棚田及び農山村景観

### B「森が生み出す水の恵み」の歴史文化

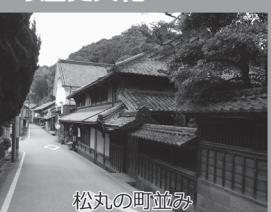
森から発した水が川の流れへと発展した平野部が対象。清流四万十川水系を形成する川とともに生きる中で育まれた歴史文化。



うなぎのジゴク漁

### C「森の間にたたずむ集落」の歴史文化

多くの人が集まり住む街道沿いの町場が対象。古くから伊予と土佐を結ぶ地として発展し、人や物資、情報が行き来する中で形づくられた歴史文化。



松丸の町並み

### D「森に依拠する戦国時代」の歴史文化

森を切り開き築かれた、町内遺跡の中で一番多い中世の山城跡とその関連遺跡群が対象。予土国境地帯でくり広げられた戦国乱世の時代をいまに伝える歴史文化。



かごもり  
河原森城跡

## 森の国松野らしさを体感しよう！



不器男體館



松野町産の杉



おさかなん館



キャニオニング



沈下橋



まつの温泉



※松野町をもっと知りたい方はPR動画をチェック！